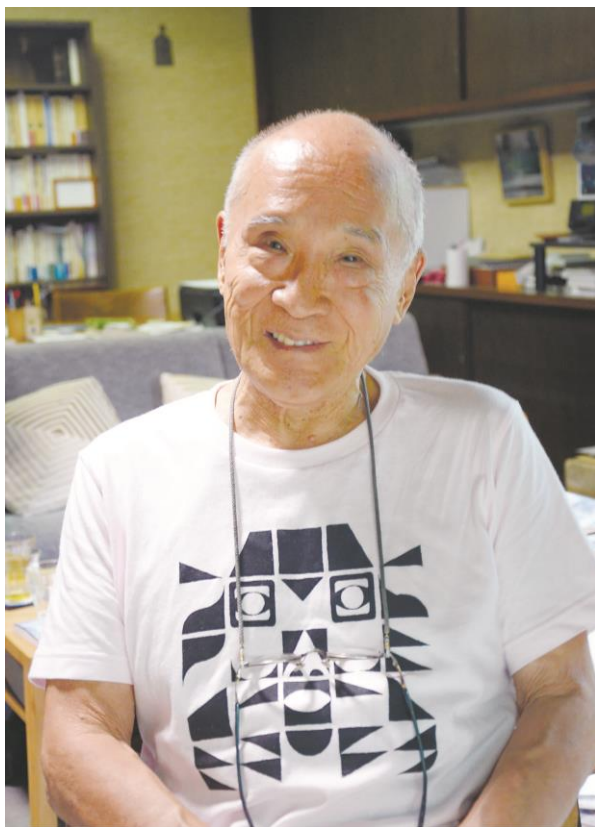


株式会社 朝日学生新聞社

株式会社 童話屋

## 谷川俊太郎さんと小中学生が「いじめ」の詩でコラボレーション

詩人の谷川俊太郎さんが「いじめ」を題材に詩を書き、小・中学生向け新聞で7月から発表していくことになりました。この連載では読者の小・中学生からもいじめの詩を募り、谷川さんの詩といっしょに掲載します。掲載作品は、お小遣いで買える値段の詩集として童話屋から7月下旬に出版予定です。



撮影・朝日学生新聞社 近藤理恵

—谷川さんから—

難しい

いじめを題材に詩を書くのはすごく難しい。小学生のときいじめられたことがあるが、その子とは後で友だちになったから、いじめられて悩んだという経験はあまりない。ではいじめるほうはどうかと言うと、自分では誰もいじめたことはないと思っているけど、いじめたことに気がつかなかったということはあるかもしれない。いじめという暴力の種はどんな人間の中にもひそんでいる。そう考えて書いてみるけど、途中で書けなくなったら無理せずやめます。

谷川俊太郎

—概要—

出版社「童話屋」代表・田中和雄が、各地の小学校に出向いて開く「詩の授業」の様子を谷川さんに話していた時のことです。子どもたちの話に耳を傾けてきた田中は、「いじめ」が学校でいかに大きな問題になっているかを実感していました。話を聞いた谷川さんは、いじめを題材にした2編の詩を書きました。そこから、谷川さん、田中と、賛同した

小学校教員らの間で「いじめさよなら会議」というアイデアが生まれました。

「はじめは、書き下ろしで、1冊分の詩、約30編を書こうという計画でしたが、途中から、子どもたちの『いじめ』の詩も一緒にして、子どもたちの小遣いでも買える『300円詩集』にしようと話がまとまりました。そして、いつのまにか『いじめさよなら会議』という夢の企画団体が生まれて、そこに朝日小学生新聞と朝日中学生ウイークリーの編集の人も加わって、谷川さんの『いじめ』の詩を連載して、さらに子どもたちの『いじめ』の詩を募集して、新聞にのせようと、話がまとまりました」（田中）

新聞連載と詩集には、「詩の授業」に参加した子どもたちの作品も登場します。

詩の力で「いじめ」に何ができるかはわかりません。でも、まずは「子どもたちが秘めている『いじめ』を、詩という文芸の世界で吐き出してもらおう」「この連載と詩集を皮切りに、日本の全国で、いじめさよなら運動が始まることを期待します」と田中は言います。

連載1回目が小・中学生新聞でそれぞれ形になりましたら、ニュースリリースとウェブサイトで改めてご報告させていただきます。配信は7月8日の予定です。この後、谷川さんと子どもたちの詩がどんなふうになりとりされていくのか、ご注目ください。

#### ■発表形態■

【新聞連載】 朝日小学生新聞（日刊8ページ、全国） …7月8日付から週1回

「いじめの詩 谷川俊太郎と子どもたち」（毎週火曜日連載）

朝日中学生ウイークリー（週刊20ページ、全国） …7月6日号から

「いじめの詩 谷川俊太郎と中学生」（毎週連載）

\*ともに朝日学生新聞社発行。海外電子版を含む

【出版】 『いじめっこ いじめられっこ ー谷川俊太郎と子どもたち』

（童話屋、本体300円+税） 7月23日刊行予定

◇谷川俊太郎（たにかわ・しゅんたろう） 詩人。1931年、東京都生まれ。『二十億光年の孤独』（集英社）でデビュー。数多くの詩集、児童書の翻訳作品を発表。小学校の国語教科書には、詩「どきん」「生きる」、翻訳を手がけた「スイミー」などがのっている。

◇童話屋 『のはらうた』『葉っぱのフレディ』などで知られる出版社。

◇朝日学生新聞社 「朝日小学生新聞」「朝日中学生ウイークリー」を発行する新聞社。

【取材等のお問い合わせ先】 朝日学生新聞社 広報・教育メセナ部

〒104-8433 東京都中央区築地5-3-2 TEL.03-3545-5223 FAX.03-3545-0978

メール：press@asagaku.com URL：www.asagaku.co.jp